



Policy 5
観光振興の基盤整備
観光施策によって福智山麓に酒蔵や飲食店がオープンしたり、町のメインイベント「福智スイーツ大茶会」が復活したりと、にぎわいの起点づくりが進む福智町。日本のインバウンド需要も多様化し、町の新たな観光の可能性に期待が寄せられる今、魅力ある店舗出店や宿泊施設誘致につながる観光誘客と人の流れを生むため、町行政にしかできない観光基盤の整備に集中し、確かなビジョンをもった観光振興に注力してまいります。



Policy 3
公共施設と機能の集約化
公共施設の老朽化対策として統合・集約化を推進。公民館機能は「コスモスコミュニティセンター」へ集約し周辺の公共施設を含めた一帯を「子育て環境推進エリア」に位置づけ、各機能の面的効果を生み出していきます。体育館は現在建設中の総合体育館に集約。防災と地域活性の拠点として整備を進めています。ライセンサーや消防団施設も統合。効率化と機能向上を図ります。財源は過疎債や交付金を積極的に活用。町負担の最小化に努めます。



Policy 1
定住促進施策の強化
少子高齢化の影響で人口減少が続く一方、3年連続で転入超過となるなど、定住促進施策の効果が表れている福智町。大手企業の調査による「住み続けたい自治体ランキング」では、県内60以上の市区町村の中から15位に選ばれました。こうしたプラスの流れを加速させるため、今年度は「第3次総合計画」と「地方創生総合戦略」を一体化させた統合計画を策定し、定住促進施策を強化。「いつまでも住み続けたいまち」としての魅力を磨いてまいります。



Policy 6
ふるさと納税の強化
町の魅力発信をはじめ、特産品開発、企業連携、雇用創出を積み重ねてきたふるさと納税。本町の行財政と政策実現、持続的発展において不可欠かつ重要な取り組みであるため、今後もPRを強化し、財源確保に努めます。また、ふるさと納税寄附の堅調により最高額を更新している町の基金は、近い将来、国からの有利な財源が無くなることを見据え、適正範囲における収支バランスを取りながら、未来に向けて備えてまいります。



Policy 4
学びの環境づくり
福智の未来そのものである子どもたちが健やかに学び、夢を描けるよう、学びの環境の基盤整備に着手します。「高校生通学定期券助成」を継続し、町外通学を支援。日韓交流やハワイ交流などのグローバル教育を通じ、自ら行動できる力を育成します。さらには、猛暑対策として中学校体育館の空調整備に向けた設計に着手するとともに、老朽化した伊方小学校の改築に向けた取組にも着手し、教育環境の充実を図ってまいります。



Policy 2
生活支援と子育て支援
昨年度末には物価高騰が続く中、国の地方創生交付金に町の予算を上乗せし、町民一人あたり1万5千円分の「ふくふく商品券」を配布。生活支援にとどまらず、町内の消費喚起につなげました。今後も国の動きに連動し、町民の皆様の生活を支援する施策を展開してまいります。子育て分野では「保育料完全無償化」や「給食費無償化」を継続しつつ、今年度からは「高校生医療費無償化」で新たな子育て支援を実現してまいります。

令和8年度 政策の柱
Key Policy Measures

令和8年度

施政方針
Administrative Policy

旧赤池町・金田町・方城町が一つになって20年、歩みを重ねた「福智町」は今、次の一步をどう踏み出そうとしているのでしょうか。人であれば、人生の節目となる二十歳。町が描くこれからの姿とは――黒土孝司町長が福智町議会で示した「令和8年度施政方針」をご紹介します。



福 智町誕生20周年の節目に立つにあたり、私は町民の皆様の暮らしの今と未来に正面から向き合い、不断の努力と決断で、成すべき改革を一步一歩、着実に前へ進めていく決意を新たにしたいところであります。すべての町民の皆様が多様な幸せを実感することができ、この町で生き、暮らすことに誇りを持ち続けられるよう、時代の波に果敢に挑み、全力でまちづくりを進めてまいります。

令和8年度におきましては、私が一貫して掲げている「確かな未来を創る」をテーマに、「定住促進施策の強化」、「生活支援と子育て支援」、「公共施設と機能の集約化」、「学びの環境づくり」、「観光振興の基盤整備」、「ふるさと納税の強化」の6つの視点を柱に据え、強い志をもって、町政を力強く切り拓いていく所存です。

今月、国の指針に基づき「福智町人材育成基本方針」を取りまとめ、その中で、町行政が果たすべき使命や存在意義として、「今と未来の町民の幸せのため、時代の変化に挑み、持続的発展を追求し、愛される町を創造する」というミッションを掲げました。この幸福追求には、いま町で暮らす町民の皆様だけでなく、将来福智町に生まれる子どもたち、福智町を選んで定住される未来の町民、そして役場で働く職員の皆様も含まれています。

時代の変化とともに直面する様々な課題に対し、果敢に挑戦していく職員姿勢を大切にしながら、職員一人ひとりが主体的に成長し、広い視野をもって持続可能なまちづくりを進めることで、住み続けたいと思われ、愛され、選ばれる町へと発展することを信じています。

私たちは「町民の皆様との信頼を築けているか」、「職員力を最大限に引き出す組織となっているか」、「感謝と情熱を心に宿しているか」、「真に必要なサービスを常に選び抜き提供できているか」を問いかけながら、最小の経費で最大の効果を生む「行政のプロフェッショナル」として、今と未来に責任を持つ行政サービスに向け、職員一丸となって努めてまいります。

全力を傾注して町政を進めていくことをここに誓いし、令和8年度の施政方針ならびに、私の所信表明といたします。